

提案書要約

- 1事業名称
- サイズアウトした子ども靴の回収・メンテナンス・リユースによる、墨田区内における子ども靴の地産地消・地域循環モデル構築プロジェクト
- 2申請者名
- 株式会社SlowFast
- 3内 容

<本事業の目的>
①目的・位置付け
A) 地域の課題と背景：
墨田区内において、子どもの成長に伴い年間約5万足規模で廃棄されていると推計される「サイズアウトした子ども靴（1～14歳目安）」を地域資源として捉え直す。
現状、購入された子ども靴の約7割が履けなくなった段階で廃棄処分されており、環境負荷（焼却処分によるGHG排出）および子育て世帯の経済的負担となっている。

B) 事業の目的：
区内の子育て関連施設等に回収ボックスを設置し、地域住民から直接靴を寄付回収する。回収した靴を自社でクリーニング・修理（メンテナンス）した上で、区内新拠点での「再販売」や「月額レンタル」という形で地域へ還元（地産地消）する。
これにより、可燃ごみの削減、エンカル消費の啓発、および地域コミュニティにおける子育て世帯への物価高騰対策を同時に実現する持続可能な循環経済（サーキュラーエコノミー）モデルを墨田区で社会実装することを目的とする。

<循環モデル図>

<本事業の内容>
当社がこれまでオンラインによる宅配型と回収ボックスを活用した方法で約2万足の子ども靴を回収・運用してきた実績と、靴クリーニングの専門ノウハウを活用し、墨田区内においてリユース拠点を新設する。それにより地域住民の行動変容を起こし、資源循環の取り組みを促進する。

A) 囚口（寄付回収拠点）：
区内の子育て関連施設等に「寄付回収ボックス」を設置。地域住民が日常的に、生活の延長線上で寄付できる仕組みを作る
B) 田間（メンテナンス）：
回収した靴は、自社の専門技術を用いてクリーニング・補修を行い、衛生面・安全面をクリアした「リユース可能な品質」へ再生させる
C) 田口（地産地消の仕組み）：
墨田区で回収した靴を区民向けに安価に販売またはレンタルとしてリユースすることで資源循環の促進を促すと同時に、子育て世帯への物価高騰対策に寄与する取り組みとする

<実施スケジュール>

実施項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月
靴の回収	設置先決定	ボックス設置				
拠点準備	物件確定	内外装デザイン	工事	工事	オープン	
広告		設置開始 チラシ			ウェブ 広告	ウェブ 広告
振り返り						報告書 作成